

東北地方太平洋沖地震 災害派遣レポート

2012年3月

甲 賀 市

ごあいさつ

甲賀市長
中 嶋 武 嗣

ここに発刊いたします冊子は、東日本大震災による被災地で支援活動に従事した甲賀市職員のレポートをまとめたものであります。

当市では、地震発生の翌日から、東北地方に向けて給水活動を展開いたしました。その一つである大船渡市の甚大な被災状況に照らし、カウンターパート方式により同市が必要とされる業務をサポートすることとしました。当市からの申し出に対し、瓦礫撤去にかかる管理業務、保健師による健康相談業務、ケースワーカーによる義援金事務、戸籍事務の要請があり、平成23年5月9日から同年10月31日までの約6ヶ月間に渡り、延べ74名の職員を現地へ派遣いたしました。また、滋賀県や関係団体からの依頼にも応え、延べ17名が被災各地で保健活動などに携わりました。

壊滅的な被害を受けた現地での活動は、日常業務とは全く異なり、また、被災された方々の心情にも寄り添わなければならないことから、それぞれの職員は苦心することも多くあったと思いますが、しっかりと使命を果たしてくれたことを、誇りに思っています。同時に、僅かではありますが同じ基礎自治体として復旧・復興に向けて扶助の精神で取り組んだ今回の活動は、活動に従事した職員を通じ、多くのことを教示してくれました。

今回の大震災を機に、全国全ての自治体が危機管理の強化を図っています。私たちの甲賀市も同様に、市民皆様の尊い生命と大切な財産を守っていくために、防災計画をあらゆる角度から見直し、自然災害に強いまちづくりを推進することとしています。しかし、ひとたび自然の猛威にさらされれば、自分や家族の身を守る「自助」と、地域で支えあう「共助」、行政機関が取り組む「公助」をうまく機能させていくことが欠かせません。

この冊子では、当市の職員がそれぞれの職務の中で被災者の皆さんに向き合い、感じ取ったことが記され、市行政は無論、自治振興会や区、ご家庭での防災や減災の備えの参考にいただける内容が詰められていますので、ぜひご一読のうえお役にたてていただければ幸いです。

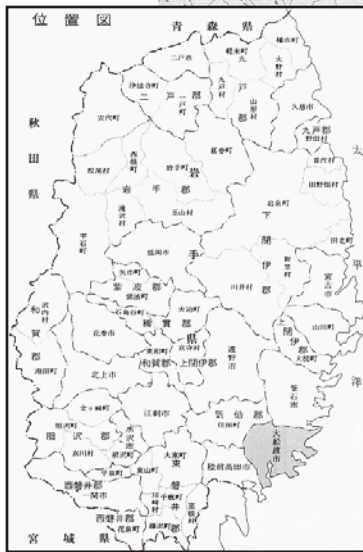
後になりましたが、この度の災害に対し、多くの市民の皆様、企業各社から、多額の義援金や数々の物資をご提供いただきましたことに、心から感謝申しあげます。

平成 24 年 3 月

5 5つのテーマ

- 1.** 支援業務等を通じて
災害に強いまちづくりを考える
- 2.** 支援業務等を通じて
地域コミュニティのあり方考える
- 3.** 支援業務等を通じて
カウンターパート等支援のあり方考える
- 4.** 支援業務等を通じて
近隣市町との連携、協定のあり方考える
- 5.** その他、支援職員が必要と考えるテーマ

大船渡市管内図





被災地支援活動期間

1

土木支援（瓦礫撤去監理業務）

岩手県大船渡市

期間：平成23年5月9日～7月30日

2

ケースワーカー支援（義援金関連業務）

岩手県大船渡市

期間：平成23年5月9日～9月8日

3

保健師支援（訪問健康相談業務）

岩手県大船渡市

期間：平成23年5月9日～10月21日

4

戸籍事務支援（戸籍死亡届受付業務等）

岩手県大船渡市

期間：平成23年8月1日～10月31日

5

給水支援

宮城県栗原市、岩手県盛岡市、岩手県大船渡市

期間：平成23年3月12日～3月20日

6

滋賀県健康支援チーム派遣

福島県

期間：平成23年4月22日～4月26日

平成23年5月23日～5月28日

平成23年6月22日～6月27日

平成23年7月22日～7月27日

平成23年8月26日～8月31日